



宮川 勇 議員



録画映像

池田市長のコロナワクチン接種
に関する件

問 65歳以上の方が対象の時期に市長がワクチン接種をした経緯は

答 市長 基礎疾患のある者として申請し、ワクチン廃棄を防ぐキャンセル枠で予約した接種をした

問 私が今回、立候補した理由が、この疑問から始まっています。

市民の方々にもこの点について訴えておりましたので伺います。

2022年2月15日、市長は3回目の接種をされていますが、この時期は65歳以上の方が対象者のはずです。

市長はどのような事情で接種したのか経緯も含めお尋ねします。

答 (市長) 本市では、一般的には、64歳以下の方の3回目のワクチン接種を令和4年3月から行う旨、広報ほくとでお知らせしていますが、一方で、基礎疾患がある方などで2回目の接種を受けてから

7、8カ月を経過した方には、令和4年3月よりも前に3回目接種ができるよう案内をしていたところで。

私は、基礎疾患のある者として申請し、2回目の接種を令和3年7月に終えており、基準により、令和4年2月上旬に接種券が届きましたので、それを基に、ワクチン廃棄を防ぐキャンセル枠でありましたが予約し、接種を受けた経過です。

問 議会議員選挙の際にこの内容を記載した私の後援会チラシを投函したことで誹謗中傷されていると言われたようですが、その辺を踏まえて市長には真摯な対応をお願いしたい。

答 (市長) 宮川議員のチラシの件ですが、その中身は虚偽ですとか誹謗中傷となり、また名誉棄損に当たるものも沢山あると思いますので、私の基礎疾患の診断書も含めて、証拠書類をしかるべく機関に提出しています。

一次産業の活性化に関する件

問 六次産業化への支援は

答 市長 今年度より「北斗市六次産業化支援事業補助金」を創設し、今後は地域経済の発展につなげたい

問 ウクライナ戦争が始まってから世界的に化学原料調達が厳しくなり、価格が80%も値上がりしている状態です。

この状況を踏まえ以下お聞きします。
(1) 酪農家には新たな支援が出されるようですが、そのほかの農家に新たな施策があればお知らせください。

(2) 現在の漁業者数を専業と兼業別、また、養殖事業についての考えをお知らせください。

(3) これまでの六次産業化の取り組みへの支援を含め、今後の市の考えをお知らせ下さい。

答 (市長) (1) 昨今の肥料、燃料、農業用資材や飼料等の急激な価格高騰は、農業経営に大きな影響を与えています。

北海道は、化学肥料購入支援金給付事業を実施し、市内の農業者66名が交付を受けており、また、今年度は、国の肥料価格高騰対策事業が実施されることになっていきます。

市は、事業に関する説明会の開催や、申請等の受付準備を進め、多くの農業者にこの制度を活用してもらえよう、積極的な制度周知に努めてまいります。

(2) 本年4月1日時点の上磯郡漁協組合員数は84名となっており、5年前に調査が行われた2018年漁業センサスによると、漁家数81戸のうち専業が14戸、兼業が67戸となっています。

養殖事業については、現在、生産、価格ともに安定しているワカメとコンブの養殖事業の増大を図っていくことを基本に、他地域における先進事例などの情報収集に努め、つくり育てる漁業を推進してまいります。

(3) 六次産業化は、初期投資がかかることから、一部の農業者からの相談でありますが、国の六次産業化事業の紹介などを行い、現在、いくつかの事業者が六次産業化に関連した事業を実施しています。

市は、今年度より六次産業化に向けた取り組みに必要な施設等の整備に対して、経費の一部を補助し、付加価値の創出と販売力の強化による持続可能な農林漁業経営の確立等を目指し、「北斗市六次産業化支援事業補助金」を創設しました。

今後は、この制度の周知に努め、多くの事業者を活用していただき、地域経済の発展につなげてまいります。



野菜の直売や体験工房がある
「(有)緑友会 六輪村」